

令和3年6月7日

石巻市議会議長 大 森 秀 一 殿

総合防災対策特別委員会
委員長 森 山 行 輝

視察報告書

視察の概要は下記のとおりです。

記

- 1 参加委員 委員長 森 山 行 輝
副委員長 千 葉 正 幸
委 員 木 村 忠 良 、 鈴 木 良 広
青 山 久 栄 、 阿 部 欽一郎
山 口 荘一郎 、 水 澤 富士江
- 2 視察日時 令和3年6月2日 1日間
- 3 視察先及び視察内容
・大崎市
原子力災害時における広域避難先の避難施設等の確認について
- 4 視察目的 原子力災害時における広域避難先の避難施設等の確認について
- 5 視察概要 別頁のとおり
- 6 所 感 別頁のとおり
- 7 経 費 なし（公用バス利用）

○視察概要

原子力災害時において、P A Z 圏及び準 P A Z 圏の住民や、U P Z 圏住民を含め 39,195 人の石巻市民が避難先となる大崎市の受入れ体制と避難先 2 か所の現地調査を行った。

・対応された大崎市職員

総務部長、危機管理監、総務部防災安全課課長補佐外 2 名

(避難施設) 中央公民館副館長、松山総合支所地域振興課主幹兼係長

(議会事務局) 角力山主幹兼係長

①避難所受付ステーション ⇒ 宮城県大崎合同庁舎

(石巻市民が避難先の大崎市に到着後、大崎市が準備している 60 ヶ所の避難所への割振りを行い、避難所まで案内・誘導する場所となる。)

現在は合同庁舎敷地内車庫を受付ステーションとする計画となっているが、コロナ禍を考慮し、ドライブスルー方式の受付を検討しており、大崎合同庁舎前のロータリーと庁舎裏駐車場のどちらかを候補地として、今後、大崎合同庁舎管理者と詳細を協議すること。

②避難施設の確認

ア. 大崎市中央公民館

昭和 46 年度開館、老朽化につき令和 4 年度には機能移転予定

敷地面積：3,039.00 m²、延床面積：2,012.02 m²

構造：R C 造 3 階建、駐車場：108 台

ホール・研修室・和室・集会室等：13 部屋、定員：346 名

隣接する旧勤労青少年ホーム（現在は中央公民館として併用）定員：161 名

イ. 大崎市松山 B & G 海洋センター

昭和 61 年度開館

大崎市体育協会松山支部に指定管理

敷地面積：13,080.00 m²、延床面積：2,591.24 m²

構造：R C 造 2 階建、駐車場：70 台

アリーナ、トレーニングルーム、ミーティングルーム等：3 部屋、定員：591 名

定員換算は、2 m²/人

コロナ対策は、2 m×2 m/人に、間に 1 m の通路を設けると定員 100 名位

隣接する施設は、野球場、25m プール、幼児用プール 60 m²

他に、体育研修センター：499 m²、(50 名程度の合宿施設) ⇒ 福祉避難所の予定

③課題

避難施設においては、一人当たり 2 m² の割合で受入れ人数を計算しているが、コロナ禍においては感染症対策を考慮すると、受入施設の増加が必要となる。

○所感

初めて原子力災害時における広域避難先の調査を行ったが、避難訓練や調査の繰返しにより精度を高めていく必要があると思料する。

また、避難する施設は避難を目的に建設されたものではないことから、避難住民が多少の不便にも対応できる訓練も必要と思われる。

○提言

避難元の石巻市は、仙台市・大崎市・多賀城市・栗原市・登米市等避難先の市町村に対し、受入に対する課題解決を丸投げせず、当事者として課題の把握・解決に向けた連携を図り、有事の時に市民が安心して避難行動が出来るように、避難元・避難先自治体間における定期的な情報交換を図るよう提言する。



宮城県大崎合同庁舎駐車場



大崎市中央公民館



大崎市松山B & G海洋センター



大崎市松山B & G海洋センター

お問い合わせ

石巻市議会事務局 議事グループ
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号
Tel: 0225-95-5080 (議会直通)
Fax: 0225-96-2274
Mail: assesc@city.ishinomaki.lg.jp